

シラバス詳細

タイトル「2025年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報

< 4 / 12件 >

科目名

中級日本語1-2(読解)

講義名

中級日本語1-2(読解)

クラス

担当教員

永島 恭子(非)

実務経験のある教員による講義

学年

1年、2年、3年、4年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

前期

開講時期

(前期)

曜日・時限

木 2

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

科目区分

要卒外(システム用)

単位区分

要卒外

単位数

1

準備事項

備考

特修プログラム

直接参照URL

https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047440161093&formatCD=1

授業方法

講義、グループワーク、ICT機器の活用

講義情報

授業概要とねらい

- ・様々なスタイルの読み物を読んでいくことを通して、読む力を高める。
- ・単に読んで情報を取るだけでなく、そこに書かれている出来事を正確に把握することに加え、書き手の気持ちや理解も推測することも期待される。
- ・ Students will develop reading skills and thinking skills by reading various kinds of materials.
- ・ In this class, we focus on not only to capture information from reading materials but also try to understand the feeling or hidden opinion of the author.

単位認定基準

- ・ 頻繁に使われる日常レベルの言語、または仕事や勉強に関係のある言語で書かれている文章を読んで理解できる。
- ・ 私信のなかに書かれているできごと、気持ち、願いなどを読んで理解できる。
- ・ 仕事、学校、余暇などでよくある、馴染みの事柄について書かれたことの要点が理解できる。
- ・ 物語や記事を読んであらすじが理解できる。
- ・ can understand texts that consist mainly of high frequency every day or job-related language.
- ・ can understand the description of events, feelings and wishes in personal letters.
- ・ can understand topics that are familiar, of personal interest or pertinent to everyday life (e.g. family, hobbies, work, travel and current events).
- ・ can understand a story or relate the plot of a book or film.

授業計画

- 1) テキスト「文体」
- 2) テキスト「漢語と和語」
- 3) テキスト「助詞のような働きをする言葉」
- 4) テキスト「文型の組み合わせ」
- 5) テキスト「どんな話かをつかむ」
- 6) テキスト「だれが・何がを考える」
- 7) テキスト「長い文に慣れる」
- 8) 中間まとめ
- 9) テキスト「知らない言葉を推測する」
- 10) テキスト「あとの内容を予測する①」(接続詞と文末表現)
- 11) テキスト「あとの内容を予測する②」(練習とまとめ)
- 12) テキスト「指示語を意識する」
- 13) テキスト「文章の構造を理解する」
- 14) テキスト「筆者の気持ちを理解する」
- 15) 全体のまとめ

* 以上は予定であり変わる可能性がある。

- 1) textbook, Unit1, Chapter1-1
- 2) textbook, Unit1, Chapter1-2
- 3) textbook, Unit1, Chapter1-3
- 4) textbook, Unit1, Chapter1-4
- 5) textbook, Unit1, Chapter2-1
- 6) textbook, Unit1, Chapter2-2
- 7) textbook, Unit1, Chapter2-3
- 8) midterm exam
- 9) textbook, Unit1, Chapter2-4

- 1 0) textbook, Unit1, Chapter2-5
- 1 1) textbook, Unit1, Chapter2-6
- 1 2) textbook, Unit1, Chapter2-7
- 1 3) textbook, Unit1, Chapter2-8
- 1 4) textbook, Unit1, Chapter2-9
- 1 5) Final exam

* these schedules are still tentative

授業計画（週形式）

教材・教科書

『新完全マスター読解 日本語能力試験N 3』（スリーエーネットワーク）

"Shin Kanzen Masuta Dokkai Nihongo Noryoku Shiken N3 New Complete Master Series - JLPT N3 Reading Comprehension" 3ACorporation

参考図書

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

- ・宿題、予習、復習をしてくること。
- ・単位制に基づき、少なくとも15時間の授業外学修時間を必要とする。

Students need to spend at least 15 hours for homework, preparation and review before and after each classes.

成績評価の方法

小テスト・提出課題（30%）、中間試験（20%）、期末試験（50%）で評価する。出席率70%以上でないと期末試験は受けられない。

quizzes and weekly assignments (30%), Midterm exam (20%), Final exam (50%)
Students cannot take the final test in case the attendance rate is lower than 70%.

成績評価の基準

S : 全ての項目において非常に優れている。
A : 全ての項目において優れている。
B : 全ての項目において「望ましい水準」に達している。
C : 一部の項目において「望ましい水準」に達していない。
F : 半分以上の項目において「望ましい水準」に達していない。

S : Very excellent in every points.
A : Very good in every points.
B : Good in every points.
C : Not good in some points.
F : Not good in most of points

オフィスアワー

授業開始時に連絡する。

It will be announced at the beginning of the course.

授業改善・工夫

Google Classroomを用いるなどして、学生に自律学習を促すとともに、授業を効率的に進める。

The class is managed effectively by using Google Classroom. Google Classroom is also expected to lead students to autonomous learning .

留意点・注意事項

J-CATでの基準点の到達を受講の目安とする。

Students needs to pass the criterion score on the J-CAT test.

教員の実務経験の有無